

Info
1

子どもとの関わり方を見直してみよう 子どもとのコミュニケーション

子育てをする中で欠かせないものの1つがコミュニケーションです。コミュニケーションは親子の信頼関係を築く大切な要素でもあります。毎日忙しく過ごす中でも、コミュニケーションの取り方を少しだけ見直してみませんか。

問い合わせ 子育て応援課発達支援係(プラザけやき内☎37-1137)



コミュニケーションの基本

●目を見て話す

子どもと目の高さを合わせてあげましょう。まず視線を合わせ、真剣に聞いていることを伝えるために、子どもの目を見て聞き、話しましょう。



●相づちを打つ

相づちを打つことで、真剣に聞いていることが伝わり、子どもはとても話しくなります。



●話をさえぎらない

話を続けようとしているのに話をさえぎってしまうと、話す気持ちがなくなってしまう。



コミュニケーションのポイント

●気持ちを代弁する

感情と言葉を結びつけられるようになると、ストレスが減り、気持ちも安定します。「○○したかったんだね」と、その子や相手の気持ちを代弁してあげましょう。

- ・子どもが落ち着いてから振り返りをする
- ・叱るのではなく、子どもの「思い」を代弁する
- ・何と言ったらいいのか見本を示す
- ・「感情(気持ち)」を代弁する

●「ダメ」の代わりにどうすればいいかを教える

「何をすればいいか」がわかっていると、子どもは安心して行動することができます。

- ・具体的に「○○しましょう」「○○したら××できるよ」などと、してほしい行動を言葉に置き換えて提案する

●褒める

褒め言葉は子どもにとって一番の励みになります。特別にできた結果だけを褒めるのではなく、普段当たり前にできていることや行っている経過、ちょっとがんばれたことを褒めると、褒める機会を増やすことができます。

- ・すぐ褒める
- ・経過を褒める
- ・具体的に褒める



■子育ての不安、相談してください

市では、乳幼児健診などで、子どもの成長・発達を見守り、保護者から気になることや心配なことを聞きながら、幼児相談や各教室を紹介しています。

子どもの自己主張が強くなる時期は、大人もイライラしてしまったり、子どもの発達に不安を感じたりすることもあるかもしれません。そんな時は一人で抱え込まずに、相談してみてください。

●市の相談先

- 就園前 子育て応援課発達支援係
(プラザけやき内☎37-1137)
- 就園児 こども政策課幼保こども園係
(プラザけやき内☎37-1131)
- 就学児 学校教育課学校指導係
(中央公民館内☎73-1113)

●その他相談先

- 東遠地区生活支援センター(☎35-2971)
静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO
(☎0547-39-3600)

●過去の記事もご覧ください

市ホームページ(右記)に、これまでの発達支援に関する広報記事を掲載していますので、ぜひ参考にご覧ください。

